

2023年8月発行

豊中市第四中学校 PTA 広報委員会

帰塚・鳥塚の祈禱を行いました

先日、校長先生はじめ、PTA 役員で祈禱式を行いました。

四中校内には、全国でも珍しく塚(お墓)が2基あります。

毎年、この塚に神社の神主さんをお呼びして祈禱をしています。

校地の南東にあるのが「帰塚」、校地の南端中央付近にあるのが「鳥塚」です。



「かえりづか」の名前はPTA 広報誌の名前にもなっています。

この塚の歴史は平安時代にさかのぼるそうです。

(出典: マチゴト豊中池田ニュース、能勢街道をゆく⑤より)

平安時代、垂水(現在の吹田市)の岩氏長者が長柄(ながら)橋を造る際、人柱になった時期の話に由来する。福井城山(四中の北側)の娘が長者の家に嫁入りしたが、口をきかなかった。夫は妻を母のもとに送り帰すことを決め、天竺(てんじく)川付近にさしかかると、突然キジが鳴き、夫がそれを射た。妻は「物いわじ父は長柄の人柱 キジも鳴かずばうたれざらまし」と繰り返した。そのキジを埋めたのが帰塚、同時に射られたカラスを埋めたのが鳥塚という。ただし、違う筋の言い伝えもあるようだ。

四中は「服部遺跡」の上に位置しております。この遺跡は、東館の建て替えに伴う土地の調査で「土器のかげら」が発見され、建て替え前に発掘調査がおこなわれたそうです。

※一全国遺跡報告総覧よりー

『弥生時代中期後半から古墳時代初頭の集落から竪穴建物・掘立柱建物・土坑・溝を検出した。弥生時代中期後半から集落が形成され、周溝墓の可能性のある溝も検出した。弥生時代後期後半から古墳時代初頭には集落は最も盛期を向かえ、竪穴建物や掘立柱建物をはじめとして多くの遺構や遺物が検出された。』

実際に塚があるので感慨深い話ですね。



これからも四中生の皆さんが健康で有意義な中学校生活が送れる事を願いお祈りしています。

